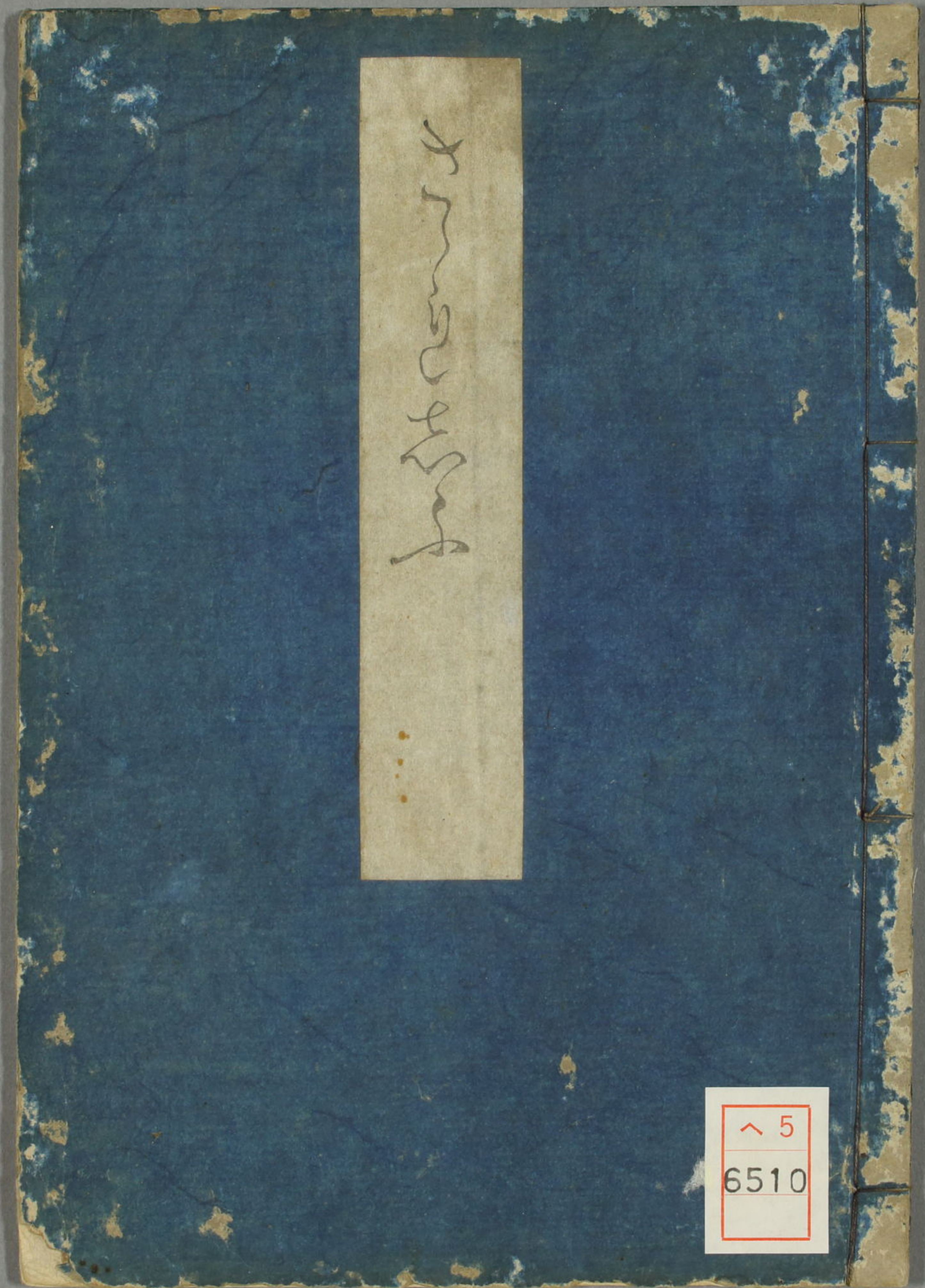
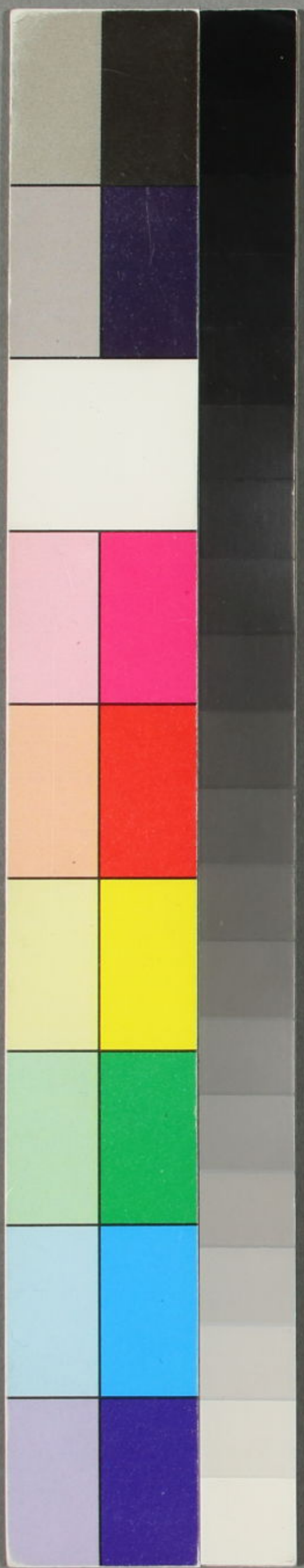




强家书卷



八五
6510

010186021903

明庵上人

明庵上人



自書

三子を母の坂とつて柳の花

七十一

結白

くらうみよりんきまの白

七十

三楓

田水のほとけのまをくらん

七十一

不退

さうりくと南のもりふ

七十五

森陸

情あふ人よこれなほありて

七十

長

うはらとらるる勢のすま

七十八

甚淵

名月如松ふまやく竹の葉 七十三 湯

新うまふく守お 七十六 井

中畧

吹くふく花ふくはるふま 八十五 氏貫

おあふくふく 八十二 梅



ねふ年ふくふく 八十六 氏貫

くふふくふく 八十三 梅

老ふくふく 八十一 寺哉

七ふく 七十九 達宇

休ふく 七十八 水

なふく 七十五 寺陸

こふく 七十四 仙草

七ナニ

隅と清りぬえとみや初る

セザ

善松也露所洞然門之

七十三

大著やとあるところから

卷一

よるこゝろ著成をねて竹の巻

七十

風

水花飛雪舞

永
梅

わくわくする年の行方、著者稿

梅女

わづなやまのり

香豆

子代
と友よりそふや
西子宮

然乎

形と上於るもの代の春

九
山

ほろり杖さくし霧の山

一學

夢然玄城の龍主人初若草乃

南
於

似令一也
轉如收衣
之如衣

萬里

美しとて無うつてふー昔衣初
うきとてふしけけつや床
史白

梅崎や花いおま園に梅
松葉

清めりてふとふとてふとて
まゝとてふとてふとてふとて
梅葉

梅のふとてふとてふとて
梅園

竹葉ー梅やとてふとて
梅風

梅やとてふとてふとて
梅葉

梅のふとてふとてふとて
梅園

梅配にふとてふとて
白二

いふふとてふとてふとて
其風

いふふとてふとてふとて
秋は

梅のふとてふとてふとて
梅葉

梅のふとてふとてふとて
梅風

ちよーもまやまもねんき

秀石

千代の松の葉をみまうる

英高

ゆふの海をみまうる

棠枝

前ふらうとて若草の畑ふ

羊山

いふまゝに秋をみまうる

杜若

よふまゝに春をみまうる

一ふ
柳坡

きのうよりけうもみまうる

石古

五

静太ーもまやまもねんき

桂叟

もまの海をみまうる

木水

ふとまもまゝに春をみまうる

界雲

ありふのやねをみまうる

板は
繪池

まゝに春をみまうる

新理

ふたふたに春をみまうる

と曉

春の波はみまうる

祐里

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

あまのほろやいも春のる あま 春矢

春理
南

自昔
高年
壽世

大

月まゝの海に舟をゆき	柳を
ちやうど花の如く	花泉
まゝの	了如
ふたつの	石額
老い若やふ	梅枝
よるふ	香水
よるふ	香

八

いふ	新日
あふ	冬月
さふ	和光
あふ	う
はふ	桑水
あふ	梳若
あふ	中庸
あふ	半成

庭古ー物ささるふきき

佃子

長次もろくく

はる 肩

君もろくくーやけり

幽市

年候て受てぬのさうふ

出石

つともふの候やー

一狐

さうさふ子代さうさうふ

奇屋

いそそのおひさお

葉判 古松

縁起やーはらわぬ

高き 行誰

さうさふのさうさう

無田 冠さ

めーはらわぬ

具始

いそそのおひさお

お花

いそそのおひさお

お花

いそそのおひさお

紫垣

いそそのおひさお

お花

くちやもまわしうらゝる我

懐日

七草に浸るゝわてゝもあ

山田

梅圃

さうらゝんちやてんや門けり

梅囀

もやれもやれふのきと君春

大寺

芳池

けうちや柳や春風うら

二道

老ねちやれゝゝゝゝゝゝゝゝ

露時

+

せうちやてんやちやてん

丸芝

さうちやてんやちやてん

仙史

ふれちやてんやちやてん

不序

きんちやてんやちやてん

蓬古

こちやてんやちやてん

山月

ちやちやてんやちやてん

梅圃

さうちやてんやちやてん

甘き

いもちやてんやちやてん

早雪

芳

月
子

拳

采福

以
松

發
列

芳
兄

十一

竹山

具曰

路安

壽

智毒

高舉

風

昔のやうにやうに書く紙に地

松賀

七十一の巻

ついでにやうにやうに書く紙に地

知古

蓮葉のうしろにやうに書く紙に地

奉月

ついでにやうにやうに書く紙に地

高松

ついでにやうにやうに書く紙に地

百谷

ついでにやうにやうに書く紙に地

松石

月夜ふいに代も昔もせ古跡衣

淡女

老ふるとさうの海 柳の花

浦女

古跡のうしろにやうに書く紙に地

圓月

七十一の巻

而也

ついでにやうにやうに書く紙に地

清江

末廣のうしろにやうに書く紙に地

柳昌

おふふと月夜ふいにやうに書く紙に地

花月

千代のうしろにやうに書く紙に地

春里

春の風　　柳の葉　　や　　春の風
 と　　や　　春の風　　や　　春の風
 春の風　　や　　春の風　　や　　春の風
 春の風　　や　　春の風　　や　　春の風
 春の風　　や　　春の風　　や　　春の風
 春の風　　や　　春の風　　や　　春の風



石　　山　　山　　山　　山
 嶺　　嶺　　嶺　　嶺　　嶺
 嶺　　嶺　　嶺　　嶺　　嶺

